

## 忘れがたい不思議な魅力

ローテンブルク・オブ・デア・タウバーはロマンチックそのものです。ドイツ国内でこの町ほど、化石となった豊かな歴史を印象深く具現する町は他にありません。ここでは言ってみれば石がものを言うのです。石は、国王や皇帝、都市貴族、そして自由都市市民の誇り、中世の秘密や不思議な魅力を語ってくれます。世界に開かれた門戸、のどかな田園の風景、そして1千年もの歴史を示す数々の証が、世界中で他に類のない魅力を生み出しており、そのためローテンブルクはドイツの国境を遙かに越えて、第一級の名所とされているのです。堅固で、42もの塔の装備された通り抜け可能な環状市壁に守られて、世界中から訪れる旅人は、せかせかとあわただしい現実を忘れ、夢のような中休みを満喫します。毎晩夜回りが、絵のように美しい木骨組家屋の立ち並ぶ円頭石舗装された曲がりくねった小路を市街見学へご案内します：忘れがたい体験です！人々を引き

つけて止まないのが、ティルマン・リーメンシュナイダーの手になる聖血祭壇のある聖ヤコブ教会です。中世において既に多数の巡礼者が、キリストの血の滴りが貴重な聖遺物として神の祝福を約束する、この壮麗なゴシック様式教会を訪れています。今日に至るまで、ローテンブルクのおとぎの国への不思議な魅力は旅行者の心を捉えて離しません。



## 冬も夏もおとぎの国

ローテンブルクは、ある特定の季節にたった1日を過ごすだけでは大変に惜しい町です。1年を通して提供される沢山のカルチャーイベントが、長期滞在にお誘いします：聖霊降臨祭には毎年、ローテンブルクは、30年戦争において3.25リットル入りの大杯を見事飲み干して町を破壊から救ったといわれる元市長ヌツシュを、歴史的衣装を着けた大隊列によって記念します。



マルクト広場に於ける古式ゆかしいカラフルな羊飼いの踊りや、聖ヤコブ教会での教会音楽コンサートは夏のカルチャーカレンダーの別のクライマックスです。晩夏には「ローテンブルクのワイン村祭」の期間中、フランケン各種ワインの試飲や名物の試食をお楽しみいただけ、9月の帝国直属都市祝祭においては、町全体がその波乱に富んだ歴史の舞台となります。1年の終わりにはローテンブルクの有名なクリスマス市が、町を夢のような冬のおとぎの国へと変身させます。500年の歴史を誇るローテンブルクのライターレスマルクトはドイツ最古のクリスマス市のひとつです。心を込めて飾り付けられた露店、中世の町並みの背景、そしてフランケン地方特有の白ワインの熱い飲み物「グリュウワイン」があいまって、完璧なクリスマス前の雰囲気をかもし出します。



## 美食の旅

絵のように美しい渓谷、素晴らしい見晴らしの丘の連なり、昔のままのたたずまいの村落：魅惑的な景観を、自転車にて又徒歩で発見したくなるのもっともです。ローテンブルク・オブ・デア・タウバーはロマンチック街道と古城街道の交差する地であり、ニュルンベルク、ヴェルツブルクあるいはデュンケルスピュールといった町々の点在する周辺地域への遠足の出発地としても理想的です。

フランケン地方とローテンブルクはその美しい自然と沢山の見所だけで有名なのではありません：フランケンのもてなしの心と名物料理も折り紙つき。旅館兼料理店やレストランにて幅広く多様なフランケン料理を発見なさってください：実質的な「プロートツァイト（パン・ハム・ソーセージ・チーズ等の盛り合わせ）」から、星印付きレストランまで、フランケン料理は変化に富み、常に最高レベルです。パンの種類が大ききからだけでも、発見の旅の価値があります。国際コンクールにて絶えず賞を獲得して、フランケン・ワインは世界中で最高位に格付けされています。この機会に地元タウバー・ワインをお楽しみください。ローテンブルクのブドウ栽培には伝統があり、その歴史は1100年に遡ります。美味しいお土産あるいは素晴らしいデザートとして、有名なローテンブルクのシュネーバル（「雪玉」の意味）はいかがですか。この地方名物は古くから伝わるレシピによってパイ生地から作られます。フランケンのもてなしの心、厨房や地下ワイン貯蔵庫から提供される洗練された食の喜び、みずみずしい景観に埋め込まれた町の像が調和して、ローテンブルクご滞在は忘れがたい思い出となることでしょう。

## 歴史を身近に体験

ローテンブルクは、町の歴史を濃密かつスリリングに示しています。例えば、中世犯罪博物館はドイツで最も重要な法律学博物館とされています。身の毛のよだつ拷問道具、しかし又井戸の竪穴に沈降可能な大きな木籠である「パン屋の浸礼」のような、今日ではむしろ奇異な印象を与える刑罰に関する情報によっても、注意を惹き付けます。壮麗なファヤンス焼き陶器や歴史的武器のコレクションをはじめとする美術史上の貴重品を展示しているのが帝国直属都市博物館。こ



の博物館の在庫には、その家屋が文化財保護の下で模範的に再建されている旧ユダヤ人街に由来する遺物も含まれています。職人の家や壮麗な市庁舎内の丸天井の歴史物展示館、中世のローテンブルクの有名な市長の別邸であったトゥッラー小城でも、歴史が生き生きとよみがえります。かつて賢い将帥で富裕な町の指導者であったトゥッラー市長は、市庁舎の地下牢にて謎に包まれた死を遂げました。ローテンブルクはしかし、素晴らしく明るく朗らかな面を見せてくれます。世界にその名を知られたケーテ・ヴォールファートの「クリスマスビレッジ」にあるクリスマス博物館が、世界中で恐らく最も愛されているこの家庭の祭りの歴史を、見事に色とりどりに語ってくれます。

## 徒歩と自転車で楽しむ景観

絵のように美しい渓谷、素晴らしい見晴らしの丘の連なり、昔のままのたたずまいの村落：魅惑的な景観を、自転車にて又徒歩で発見したくなるのもっともです。様々な距離の、多数の標識を完備したハイキング道が町の周りに巡らされ、フランケン高地やタウバー渓谷へと延びています。様々なヤコブ巡礼道の交差する地として、町は巡礼者を惹き付けます。タウバー渓谷に沿ったローテンブルクのミュールンヴェーク（「水車道」



の意味）や、水利経済学習道シャントタウバータール、あるいは町の南傾斜地のワイン山にあるブドウ品種/岩石学習道を歩くハイキングでは、沢山の興味深い知識が得られます。毎週水曜日にそれぞれ、ローテンブルク周辺への案内付きハイキングが提供されています。春と秋の「ハイキング週間」がプログラムを完全なものにしています。サイクリング好きの方も、ローテンブルク・オブ・デア・タウバーではお望み次第です。ローテンブルクに通じる多数の整備されたサイクリング道の中には、この町を出発地とする人気のあるタウバー渓谷サイクリング道や、アルトミュール渓谷サイクリング道もあります。ご家族全員のための冒険、アクション、木登りの楽しさを提供するものが、ローテンブルクのクレッターヴァルト（「木登りの森」の意味）です。1メートルから17メートルまでの高さにて、様々な難易度コースで木から木へと移動していただけます。

## 町の歴史概要

960年 タウバー渓谷（デトヴァング）地区に最初の集落 | 1142年 ホーエンシュタウフェン家の国王コンラート三世による帝国城塞 („Castrum Imperiale“) の建築。城塞の付近、丘陵の上に集落ができ、後のローテンブルクとなる。 | 1274年 ローテンブルクは国王ルドルフ・フォン・ハプスブルクにより「帝国自由都市」に指定される。 | 1356年 地震により帝国城塞を含む町の部分が破壊される。 | 1400年 トゥッラー市長のもとで町は最盛期を迎える。6000人を超す人口を数えローテンブルクは帝国最大の都市の一つとなる。 | 1525年 農民戦争においてローテンブルクはフローリアン・ガイアーの率いる反乱軍側と同盟を結ぶ。町の衰退が始まる。 | 1544年 宗教改革の波に洗われる。 | 1618-1648年 三十年戦争において、プロテスタントの町であるローテンブルクは何度も占領の憂き目を見る。1631年には「見事な一気飲み（マイスタートゥルンク）」により町は壊滅

から救われる | 1802年 500年続いた独立の後に、フランケン地方のローテンブルクは意に反してバイエルン王国に編入される。 | 1945年 町は連合軍の爆撃の犠牲となる。旧市街地東部が破壊され、全部で古い建築物の40パーセント以上が炎上する。全世界からの大がかりな寄付援助により、破壊された地区の再建復興が行われ、模範的な建築条令により保護される。

## 博物館と見所（毎日の開館時間）

subject to change

- Ⓐ 市庁舎 / 市庁塔 (Rathaus/Rathausturm): 4月～10月は午前9時半～12時半と午後1時～5時（毎日）、11月と1月～3月は土曜、日曜のみ正午～午後3時、12月は10時半～午後2時半と午後2時半～6時。
- Ⓒ 歴史物展示室 (Historiengewölbe): 3月は12時～午後4時、4月は10時～午後4時、5月～10月は午前9時半～午後5時半。他の営業時間は、投稿板を参照してください。
- Ⓓ 聖ヤコブ教会 (St.-Jakobs-Kirche): 4月～10月は午前9時～午後5時15分、11月と1月～3月は午前10時～12時と午後2時～4時、12月は午前10時～午後4時45分。
- Ⓔ 郷土博物館 (Reichsstadtmuseum): 4月～10月は午前9時半～午後5時半、11月～3月は午後1時～4時。
- Ⓕ フランツィスカーナー教会 (Franziskanerkirche): 1月～3月は午前10時～正午と午後2時～4時、4月～10月は午前9時～5時15分、11月は午前10時～正午と午後2時～4時、12月は午前10時～午後4時15分。
- Ⓖ ドイツ・クリスマスミュージアム (Deutsches Weihnachtsmuseum): 1月1日～6日は毎日午前11時～午後4時、1月7日～復活祭は土曜、日曜のみ午前11時～午後4時、復活祭～12月23日は毎日午前10時～午後5時、12月24日～31日は短縮営業時間。
- Ⓖ 犯罪博物館 (Mittelalterliches Kriminalmuseum): 4月～10月は午前11時～午後5時、5月～10月は午前10時～午後6時、11月、1月、2月は午後2時～4時、3月と12月は午後1時～午後4時。
- Ⓖ 旧ローテンブルクの職人の家 (Handwerkerhaus): 復活祭～10月：月曜～金曜は午前11時～午後5時、土曜/日曜は午前10時～午後5時。
- Ⓖ 聖ヴォルフガング教会 (St. Wolfgangskirche): 4月～9月は午前10時～午後1時と午後2時半～5時、10月と待降節の週末は午前11時～午後4時、火曜は閉館。
- Ⓖ トゥッラーシュロスヒェン（トゥッラー別荘）：年間を通して金曜-日曜日の午後1時-4時、11月は閉館。



1000年の法律の歴史がここに

ここでは、ドイツの法制史上重要な意味を持つコレクションが収められています。これらは、拷問が行われていた時代、体罰、死刑、そして名刑罰などが描かれた時代の空気を伝えるもので、希少な価値の高い当時の法律文書、判決書、公印、および著名な作者による絵画などがあります。そして、このようなコレクションを持つ博物館はここにしかありません。

中世犯罪博物館 Burggasse 3-5 · 91541 Rothenburg o. d. T.  
Tel: +49 9861 5359 · Web: www.kriminalmuseum.rothenburg.de · 年中無休です。



ここはそのままメルヘンの世界  
一年中クリスマスワールド

ケーテ・ウォルフアルトの  
世界的に有名な「クリスマスピレージ」

ケーテ・ウォルフアルト · Herrngasse 1 · 91541 Rothenburg o. d. T.  
Phone +49 (0)9861 4090 · www.wohlfahrt.com  
日本語メール nihongo@wohlfahrt.com

Rothenburg  
ob der Tauber

詳しい情報についてはお問い合わせください。

ローテンブルク観光サービス

住所: Marktplatz 2, 91541 Rothenburg

電話: +49 (0) 9861 404-800、ファックス: +49 (0) 9861 404-529

E-メール: info@rothenburg.de, インターネット: www.rothenburg.de/tourismus



www.rothenburg.de/tourismus

Facebookでご覧ください。  
www.fb.com/rothenburg.de

## 見所

### A 市庁舎 (Rathaus)

マルクト広場 (市の立つ広場) に面した市庁舎は、様式の異なる2つの建物から構成されています。後方のゴシック様式の建物 (1250年~1400年) と前方のルネッサンス様式の建物 (1572~1578年) です。高さ60mの市庁舎鐘塔の展望台は正面玄関からお入りください。

### B 市参事会員酒場/ツーリストインフォメーション (Ratstrinkstube/Touristinformation)

市参事会員酒場はかつては市参事会員専用でした。現在はここに観光案内所があります。建物に取り付けられた仕掛け時計は、午前10時から午後10時まで毎時間、「マイスタートゥルンク (市長の見事な一気飲み)」の伝説的史実シーンを再現します。

### C 歴史物展示室 (Historiengewölbe)

30年戦争当時のローテンブルクの有様が展示されているこの丸天井の博物館には、武器や制服などが展示されています。その他に、町の有名なハインリッヒ・トプラー市長が1408年に獄死したかつての地下牢へも通じています。  
www.meistertrunk.de

### D 聖ヤコブ教会 (St.-Jakobs-Kirche)

教会内のティルマン・リーメンシュナイダーの手になる「聖血祭壇」はフランケン地方有数の見所のひとつであり、これまたティルマン・リーメンシュナイダー作の「ルートヴィヒ・フォン・トゥールーズ祭壇」及びフリードリヒ・ヘルリン作の「12使徒祭壇」もぜひじっくりご覧いただきたいものです。建築的特徴は、この教会が通りを越して建設されているという事実。1311年に建設が開始されました。  
www.rothenburgtauber-evangelisch.de

### E 帝国直属都市博物館 (Reichsstadtmuseum)

かつてのドミニコ修道尼僧院の建物内に収容されているこのローテンブルクの郷土博物館は、かつてのドイツ帝国直属都市の美術・文化の収集品を展示しています。特筆すべきは、13世紀に由来する尼僧院の調理場、「ローテンブルクの受難」と呼ばれるキリストの受難を物語る12枚続きの板絵 (1494年) 及び重要なフアヤンス焼き陶器と歴史的武器を収集したパウマン・コレクションです。  
www.reichsstadtmuseum.rothenburg.de

### F 城塞門 (Burgtor)

紋章で装飾された外門。お面の開口部

から攻撃者に向かって熱い瀝青を注ぎかけることができました。内側の門扉内に組み込まれた「針穴」と呼ばれる小さな扉は、夜間一人用の通路として使われました。

### G 城塞公園 (Burggarten)

今日の城塞公園の場所に、1142年、ホーエンシュタウフェン家が帝国城塞を建てましたが、1356年の地震によりほとんど崩壊してしまいました。唯一、ブラジウス礼拝堂だけが地震の後で修復されました。城塞公園からは、旧市街とタウバー渓谷の比類ない素晴らしい眺めが一望できます。

### H フランツィスカーナ教会 (Franziskanerkirche)

1285年に建立された前期ゴシック様式のローテンブルク最古のこの教会には、ティルマン・リーメンシュナイダーの手になる「聖フランシスコ祭壇」があります。

### I ドイツのクリスマス博物館 (Deutsches Weihnachtsmuseum)

伝統的な家庭の祝日であるクリスマスの歴史とその飾り物の進展をテーマとする通年の展示。  
www.weihnachtsmuseum.de

### J ゲオルクの泉 (Georgsbrunnen)

町最大の井戸で、深さ8メートル、10万リットルの水をたたえています。現在見られる後期ルネッサンス様式の姿になったのは1608年のこと。

### K 肉屋/舞踏館

木骨しっくい切妻造りのこの旧都市貴族の館には、芸術家組合の展示室が収容されています。昔は下の階で肉屋が商売を行っていた。上の階では祝宴が催されました。

### L 中世犯罪博物館 (Mittelalterliches Kriminalmuseum)

この有名な法律学博物館は、延べ3000m<sup>2</sup>の展示フロアに、中世後期から19世紀に至る法律の発展を展示しています。拷問道具、さらし刑や公民権剥奪刑の道具、そして多数の文書史料及び図版も展示品に属しています。  
www.kriminalmuseum.eu

### M ヨハニス教会 (Johanniskirche)

このカトリック教会の設立は1390~1410年。

### N プレーンライン/ジーバーの塔 (Plönlein/Sieberturm)

ドイツの最も美しい中世の町並みのひとつであるプレーンラインは、昔から写真のモチーフとして人気を博しています。その後ろにあるジーバーの塔は1385年頃に建てられました。

### O ゲルラッハ鍛冶屋 (Gerlachschieme)

必見の木骨組家屋。

### P レーダー門 (Rödertor)

14世紀末に建てられた市門で、よく保存された税関と見張り小屋が付いています。レーダー塔は、環状市外壁内で唯一の見学可能な展望塔です。

### Q アルトローテンブルクの職人の家 (Alt Rothenburger Handwerkerhaus)

1270年頃に建てられたこの家では、中世の昔の職人家庭の暮らし振りが、オリジナルの家具調度で設備された11の部屋に展示されています。

### R レーダーアーチ/マルクス塔 (Röderbogen/Marksturm)

これらは両方とも、最初の環状市外壁の建設に沿って1200年頃に建立されました。最も美しい門のモチーフのひとつ。

### S 白い塔 (Weißer Turm)

12世紀に建造された市門。塔に隣接する建物は旧ユダヤ人舞踊館であり、中世ユダヤ人社会の中心地の役割を果たしていました。

### T クリッゲン門/羊飼いの踊り陳列室のある聖ヴォルフガング教会 (Klingenbastei/ Wolfgangskirche mit Schäfertanzkabinett)

貯水塔の機能を果たしていたクリッゲン門をくぐると現れてくるのが、後期ゴシック様式の聖ヴォルフガング教会 (別名を羊飼いの教会) です。聖ヴォルフガング教会は、地下に装甲室と屋根裏に防御回廊を持つ城壁教会です。門番の家には今日、羊飼いの踊り陳列室が収容されています。  
www.schaefertanzrothenburg.de

会 (別名を羊飼いの教会) です。聖ヴォルフガング教会は、地下に装甲室と屋根裏に防御回廊を持つ城壁教会です。門番の家には今日、羊飼いの踊り陳列室が収容されています。

### U やぐら門 (Galgentor)

旧市街地区への乗り入れ口。

### V シュピタルバスタイ (Spitalbastei)

17世紀に建てられたこの堅固な要塞は、二つの空濠と7つの門を備えた、町最大のとりで。よく保存された外濠も見所。また大砲のある塁道まで行くこともできますので、ぜひご覧ください。

### W 帝国都市ホール (Reichsstadthalle)

1699年に建てられた旧ツェントショイネ (10% 物品税の殺物倉庫) は、1975年にイベントホールに改造されています。

### X コーボルツェラー門 (Kobolzheimer Tor)

1360年頃に建造された市門で、空濠とかつて4つの門を備えた町で最も興味深い防御設備の一部を成しています。

### Y 二重橋/コーボルツェラー教会 (Doppelbrücke/ Kobolzheimer Kirche)

古代ローマの高架橋に似たこの橋は14世紀に架けられました。その傍らにコーボルツェラー教会が建てられています。後期ゴシック様式の教会で、1172年から1479年の間の建設。1525年の農民戦争の際にひどい略奪の被害に遭っています。

### Z トプラー小城 (Topplerschlösschen)

1388年に半ば別邸、半ば防御塔として建設された、ローテンブルクで最も有力であったトプラー市長の水の館。この城には16~19世紀の家具調度が設備されており、見学できます。

ローテンブルクにお越しの皆様

皆様にローテンブルクの美しさを知っていただくために、いくつかの方法を提供いたしております。

ガイド付き市街観光 (英語のみ):

復活祭から10月31日まで及びクリスマス市

開催期間中の毎日午前11時~午後2時、11月は午前11時のみ。

夜間警備員同行の市街巡回 (英語のみ):

3月中旬から1月5日までの毎日午後9時半。

マルクト広場/市庁舎正面入り口から。料金は直接ガイドにお払いください。

オフシーズン中のガイドツアーについてはお問合せ下さい。



- |           |             |       |          |                    |
|-----------|-------------|-------|----------|--------------------|
| 市壁への通路    | 乗用車用駐車場     | 児童遊園地 | 飛行場      | ユースホステル            |
| 見晴らしの良い地点 | バス駐車場       | ブドウ畑  | テニスコート   | 短い市内巡り...所要時間約1時間半 |
| 洗面所       | キャンピングカー置き場 | キャンプ場 | 乗馬場      | 長い市内巡り...所要時間約2時間半 |
| 身体障害者用洗面所 | 駅           | 気球飛行  | スイミングプール | 市壁                 |



ポケットガイド  
魅惑のローテンブルク

Rothenburg  
ob der Tauber

Nominal Charge: 0.10 €

インプリント: 発行所: ローテンブルク観光サービス | デザイン: www.oe-grafik.de | 翻訳: www.steier.com | 写真: F. レスボングラ (編集): D. ヴルツ, P. フリッシュムート, W. フランツィン | 印刷: シュタイター・フェストシュテット | 2017/10